

外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

1. 基本情報

平成30年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 新潟ミートプラント		
所在地	新潟市西区中野小屋1631番地		
代表者(職・氏名) (所属・職)	理事長・朝妻 厚雄	電話番号	025-261-2100
	新潟市職員OB	ホームページ	http://www.n-meatplant.or.jp/
市所管課	農林政策課	電子メール	n-meatplant@sunny.ocn.ne.jp
基本財産等 (基本金等)	120,000 千円	設立年月日	平成5年1月21日 (平成24年4月1日公益財団法人へ移行)
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	48,000 千円	40.0 %
	全国農業協同組合連合会	33,000 千円	27.5 %
	新潟市食肉センター利用組合	33,000 千円	27.5 %
	副産物取扱団体	6,000 千円	5.0 %
		千円	%
設立目的	<p>本法人は、食肉の生産、流通、利用等に関する知識の普及や安心・安全な食肉の確保に関する啓発を推進するとともに、食用に供される獣畜のと殺解体に関する事業を行い、もって地域の公衆衛生の向上及び増進並びに一般消費者に対する安心・安全な食肉の安定供給に寄与することを目的とする。</p>		
経営理念 経営方針	<p>食肉の高品質とおいしさの両立を全職員が一丸となって追及するとともに、働きがいのある職場づくりをしながら畜産業の振興と新潟市の発展に貢献する。</p>		

2. 主要事業

事業名 ①			事業概要				
食肉関連事業			食用に供される獣畜のと殺解体・食肉の冷蔵保管及び食肉の生産、流通、利用等に係る知識等の普及				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	408,156	402,572	435,426	436,038
活動指標・成果目標			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
①と殺頭数(豚換算)	計画	頭		210,417	210,854	211,835	212,052
	実績			210,517	212,331	210,014	
	達成・未達成の理由等						
②食肉冷蔵保管(豚換算)	計画	頭		300,387	288,680	308,644	314,876
	実績			302,351	315,523	321,615	
	達成・未達成の理由等						
③来場者数	計画	人		-	-	-	
	実績			208	280	270	
	達成・未達成の理由等						

事業名 ②			事業概要				
施設管理事業			新潟市食肉センターの管理運営				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予算)
公益事業	受託事業	収入額	千円	179,980	178,872	174,933	176,655
活動指標・成果目標			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	計画						
	実績						
	達成・未達成の理由等						
	計画						
	実績						
	達成・未達成の理由等						

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

(単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
役員数	9	9	9	9
常勤	2	2	2	2
市派遣				
市職員OB	2	2	2	2
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	7	7	7	7
市兼任	1	1	1	1
市職員OB				
他団体兼任	6	6	6	6
その他				
職員数	44	45	44	44
常勤	37	36	38	38
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	37	36	38	38
他団体からの派遣				
非常勤	7	9	6	6
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	7	9	6	6
見直し等の取組み				

(2) 職員の状況（市派遣職員を除く。）

(単位：人)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
職員の状況	管理職	3	3	4	4
	一般職	41	42	40	40
	合計	44	45	44	44
年齢構成	20代以下	3	5	3	3
	30代	12	11	11	10
	40代	11	11	14	17
	50代	14	15	15	13
	60代以上	4	3	1	1
	合計	44	45	44	44

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
報酬・給与等	238,596	240,606	239,703	246,296
内 市職員分	0	0	0	0
役員	7,800	6,381	7,800	7,200
常勤	7,800	6,381	7,800	7,200
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	230,796	234,225	231,903	239,096
常勤	212,813	214,754	217,083	226,438
内 市職員分				
非常勤	17,983	19,471	14,820	12,658
内 市職員分				
平均年収（市職員を除く。）				
常勤役員	3,900	3,191	3,900	3,600
常勤職員	5,751	5,965	5,713	5,959
見直し等の取り組み				

(4) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
●	団体独自の給与体系	有	予定時期 年度～
	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

4. 財務の状況

(1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
一般正味財産増減の部	経常収益	583,040	588,923	582,207
	基本財産運用益	119	20	9
	特定資産運用益	59	57	39
	受取会費			
	事業収益	582,854	588,799	582,142
	自主事業収益	404,535	409,927	407,209
	受託事業収益	178,319	178,872	174,933
	受取補助金等・負担金			
	その他経常収益	8	47	17
	経常費用	591,547	582,038	616,260
	事業費	586,475	576,325	610,359
	公益目的事業費	586,475	576,325	610,359
	収益目的事業費			
	(自主事業費)	402,084	402,572	435,426
	(受託事業費)	179,319	173,753	174,933
	法人会計			
	管理費	5,072	5,713	5,901
	評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 8,507	6,885	▲ 34,053
	評価損益等	0	0	0
	基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等				
投資有価証券評価損益等				
当期経常増減額	▲ 8,507	6,885	▲ 34,053	
経常外収益				
経常外費用	10	0		
当期経常外増減額	▲ 10	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲ 8,517	6,885	▲ 34,053	
一般正味財産期首残高	49,376	40,869	47,755	
一般正味財産期末残高	40,859	47,754	13,702	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金	63		
	その他			
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額	▲ 100		
	当期指定正味財産増減額	▲ 37	0	0
	指定正味財産期首残高	99,945	99,908	99,908
指定正味財産期末残高	99,908	99,908	99,908	
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			
基金期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高	140,767	147,662	113,610	

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲) 人件費	238,596	240,606	240,996
役員分	7,800	6,381	7,800
職員分	230,796	234,225	233,196

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
資産の部	資産の部合計	304,258	325,740	324,071
	流動資産	152,270	163,340	159,682
	現金預金	133,573	144,477	142,198
	未収金	18,697	18,792	17,169
	有価証券			
	その他流動資産		71	315
	固定資産	151,988	162,400	164,389
	基本財産	99,908	99,908	99,908
	特定資産	51,967	51,968	61,968
	その他固定資産	113	10,524	2,513
	有形固定資産	38	449	2,438
	無形固定資産	75	75	75
その他投資等		10,000		
負債の部	負債の部合計	163,481	178,078	210,462
	流動負債	63,816	66,119	66,627
	短期借入金			
	その他流動負債	63,816	66,119	66,627
	固定負債	99,665	111,959	143,835
	長期借入金			
その他固定負債	99,665	111,959	143,835	
正味財産の部	正味財産の部合計	140,777	147,662	113,609
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産	99,908	99,908	99,908
	うち補助金			
	(基本財産充当額)	99,908	99,908	99,908
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	40,869	47,754	13,701
	代替基金			
その他一般正味財産	40,869	47,754	13,701	
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)				
負債の部及び正味財産の部合計		304,258	325,740	324,071

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市財政支出等の合計	178,319	178,872	174,933
補助金			
事業費補助金			
運営費補助金			
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	178,319	178,872	174,933
内 随意契約額※	178,319	178,872	174,933
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)			

※ 随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

--

(4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
純資産	140,777	147,662	113,609
公益目的保有財産	▲ 100,021	▲ 100,432	▲ 102,421
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲ 0	▲	▲
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲	▲	▲
拋出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲
遊休財産額	40,756	47,230	11,188

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常損益	▲ 8,507 千円	6,885 千円	▲ 34,053 千円
自己資本比率			
純資産	46.3 %	45.3 %	35.1 %
純資産＋負債			
流動比率			
流動資産	238.6 %	247.0 %	239.7 %
流動負債			
固定長期適合率			
固定資産	63.2 %	62.6 %	63.9 %
固定負債＋純資産			
借入金依存度			
借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
資産の部合計			
剰余金（欠損金）			
純資産	20,777 千円	27,662 千円	▲ 6,391 千円
一資本金（基本金）			
公益目的事業比率			
公益目的事業費	99.1 %	99.0 %	99.0 %
公益・収益目的事業費＋管理費			
遊休財産水準			
公益目的事業費	14.39	12.20	54.55
遊休財産額			
資金運用			
基本財産としての 有価証券の保有	● 有	→	○
			○
			○

（2）団体の自立性

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市職員比率			
常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
常勤職員数			
財政的依存度			
市財政支出	30.6 %	30.4 %	30.0 %
経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率			
市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
経常収益			
随意契約比率			
市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
市委託料			

（3）経営の効率性

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度
職員1人当たり 売上高			
事業収益	13,247 千円	13,084 千円	13,231 千円
職員数			
職員1人当たり 経常利益			
事業活動収支差額	▲ 193 千円	153 千円	▲ 774 千円
職員数			
管理費比率			
管理費	0.9 %	1.0 %	1.0 %
経常費用			
職員1人当たり 管理費			
管理費	115 千円	127 千円	134 千円
職員数			
人件費比率			
人件費	40.9 %	40.9 %	41.4 %
経常収益			
役員人件費比率			
役員人件費	3.3 %	2.7 %	3.2 %
人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称〔(公財)新潟ミートプラント新中期計画〕 計画期間 平成24～平成28年度
概要・数値目標	
経営理念や経営方針、中期(経営)計画などを策定 ※現計画を平成30年度(指定管理期間終了)まで、延長することとし、再指定後改定を行う。	
無	未策定理由〔 〕

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
有	就任時期 年度～ 依頼先職種〔 〕	● 有	依頼時期 18年度～ 依頼先職種〔公認会計士〕
● 無			無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 21年度～ 〔公益法人認定申請に伴う事前の現状把握として、現行の問題点、改善案等の意見交換を毎週定期的実施している。〕
無	

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 21年度～ 〔先進食肉センター視察、国際食品工業展視察、公益法人化に伴う各種セミナー参加、産業廃棄物技術管理者講習受講〕
無	

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
● 有	策定時期 18年度～ 規定名称〔公益財団法人新潟ミートプラント情報公開規程〕	団体ホームページ掲載	● 定款等 24年度～
			● 事業内容 21年度～
			● 役員名簿 21年度～
			● 役員報酬 年度～
			● 事業報告 21年度～
			● 正味財産増減計算書 21年度～
			● 貸借対照表 21年度～
無	未整備理由〔 〕	● 事業計画書 21年度～	
		● 予算概要 21年度～	

改善対応区分
 A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
 B:改善の取組の効果が始まっている
 C:改善の取組に着手
 D:改善の取組に向けて検討中
 E:今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		と畜処理数を増やすための業務の見直し及び新たな収入増加策について、今後の中長期計画に盛り込むとともに、早急の実施することが望まれる。					
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
当該区分の理由		繁忙期、閑散期に計画的な操業調整を行い、稼働率の維持に努めた。と殺解体手数料を6月から値上げした。					
今後の具体的な取組み・対応方針等 (Aの場合は以下記入不要)		と畜処理頭数の減少傾向が続き、今後とも大幅な伸びは期待できない中、集荷業者、生産者の状況把握に努め、と畜頭数の確保に努める。					
今後の改善・対応	工程	実施事項	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	HACCPシステム等の導入	HACCPシステムの運用 品質管理システムの運用	HACCPシステムの運用 品質管理システムの運用	HACCPシステムの運用 品質管理システムの運用	HACCPシステムの運用 品質管理システムの運用	HACCPシステムの運用 品質管理システムの運用	
成果指標	活動指標・成果目標	施設・設備の修繕・増設	HACCPシステム関連施設見直し	HACCPシステム関連施設見直し			
		計画					
	実績						
	進捗コメント						
	計画	実績					
		進捗コメント					
進捗コメント							

改善指示事項		人件費の増加は団体・所管課とも共通の課題であると認識されているため、雇用制度やパート職員の活用のための対応でよいのか検討が必要である。					
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
当該区分の理由		再雇用、パート職員を活用した対策を行った。退職者1名を不補充として試行している。					
今後の具体的な取組み・対応方針等 (Aの場合は以下記入不要)		現施設を適正に稼働させるためには現職員数が必要であるが、再雇用、パート職員の活用も引き続き検討していく。					
今後の改善・対応	工程	実施事項	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	対応策の検討と実施	実施可能なものから実施	実施可能なものから実施	実施可能なものから実施	実施可能なものから実施	実施可能なものから実施	
成果指標	活動指標・成果目標	計画					
		実績					
	進捗コメント						
	計画	実績					
		進捗コメント					
		進捗コメント					

改善指示事項		経費削減については、毎期、具体的な数値及び行動目標を掲げて取り組むべきである。					
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
当該区分の理由		具体的な数値目標の設定はできなかったが、削減を意識した取り組みを実施した。					
今後の具体的な取組み・対応方針等 (Aの場合は以下記入不要)		と畜処理頭数により変動するものや、光熱水費など価格変動があるものなどがあり、目標設定はできなかったが、引き続き経費削減策を検討し実施する。					
今後の改善・対応	工程	実施事項	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		経費削減行動目標及び削減目標数値の設定	個別行動目標の設定と指標の検討	実施及び進行管理	実施及び進行管理	実施及び進行管理	
成果指標	活動指標・成果目標	活動指標・成果目標	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		計画					
		実績					
		進捗コメント					
		計画					
		実績					
	進捗コメント						

改善指示事項		施設老朽化への対応を検討する必要がある。					
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
当該区分の理由		長岡食肉センターとの統合も含め、県、市と意見交換を実施。					
今後の具体的な取組み・対応方針等 (Aの場合は以下記入不要)		県、市と協議し、対策を講じていく。					
今後の改善・対応	工程	実施事項	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		施設・設備等の改修	内臓ボイル機更新 汚水処理施設屋根改修 工場棟照明改修 貯水槽改修	翌年度の施設・設備等改修計画について市と協議、市で予算確保	翌年度の施設・設備等改修計画について市と協議、市で予算確保	翌年度の施設・設備等改修計画について市と協議、市で予算確保	
成果指標	活動指標・成果目標	活動指標・成果目標	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		計画					
		実績					
		進捗コメント					
		計画					
		実績					
	進捗コメント						

改善指示事項		プロパー職員の育成は、プロパー職員から管理職、役員へ登用するまで目標期間などを定めた中長期的な登用計画を策定し、計画的に育成を進める必要がある。					
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
当該区分の理由		プロパー職員で課長職を3名とした。					
今後の具体的な取組み・対応方針等 (Aの場合は以下記入不要)		プロパー職員のさらなる育成に努める。					
今後の改善・対応	工程	実施事項	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		プロパー職員の管理職等登用・育成計画	策定検討	策定	運用	運用	
成果指標	活動指標・成果目標	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		計画					
	実績						
	進捗コメント						
	計画	計画					
		実績					
進捗コメント							

改善指示事項		他施設を意識した料金設定やサービスの提供など、と畜数を維持、拡大させるための具体的な対応策の検討が必要である。					
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
当該区分の理由		と殺解体手数料の改定を実施(平成30年6月1日分より適用)					
今後の具体的な取組み・対応方針等 (Aの場合は以下記入不要)		32年度に手数料の見直しを検討する。					
今後の改善・対応	工程	実施事項	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		と殺解体手数料の改正	理事会等での審議及び利用者説明会の開催	手数料改定・実施	実施	手数料の見直し検討	
成果指標	活動指標・成果目標	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
		計画	1回			1回	
	実績						
	進捗コメント						
	計画	計画	4回	4回	2回	4回	
		実績					
進捗コメント							

改善指示事項		施設の老朽化への対応として、老朽化の程度や耐用年数等を考慮して施設全体の中長期的な修繕、改修計画を策定し、それに基づき対策を行う必要がある。計画的にオートメーション化を推進するなど、熟練技術が不要なシステムの構築の検討も必要である。					
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
当該区分の理由		設備台帳を作成済み。					
今後の具体的な取組み・対応方針等 (Aの場合は以下記入不要)		設備台帳を基に、長岡食肉センターとの統合検討の進捗をみながら、改修計画を作成していく。オートメ化についても、業界の技術水準を注視し、計画に反映させていく。					
今後の改善・対応	実施事項		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	工程	施設・設備等改修計画		作成			
施設設備改修箇所一覧		作成	作成		作成		作成
成果指標	活動指標・成果目標		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	施設設備改修箇所一覧の見直し	計画		1回	1回	1回	
		実績					
		進捗コメント					
	改修に係る情報交換会の開催	計画		2回	2回	2回	
		実績					
進捗コメント							

改善対応区分

- A: 改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
- B: 改善の取組の効果が始まっている
- C: 改善の取組に着手
- D: 改善の取組に向けて検討中
- E: 今は実施せず今後の課題とする

(2) 【その他改善を要する事項】の改善状況

		今後改善を要する事項					
		改善・対応区分	A	B	C	D	E
		当該区分の理由					
		今後の具体的な取組み ・対応方針等 (Aの場合は以下記入不要)					
①	今後の改善・対応	工程	実施事項	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	成果指標	活動指標・成果目標		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画				
		実績					
		進捗コメント					
		成果指標	計画				
実績							
進捗コメント							

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	近年、と畜数の減少に加え施設管理費用や諸経費などの増加により、単年度赤字が続くと見込まれる厳しい状況となり、と畜解体手数料の値上げを実施した。今後とも経費の削減に努め、経営の健全化を図っていく。
団体の自立性	現在は自立性が確保されている。
経営の効率性・適正性	と畜数は減少傾向にあり、しかも人件費比率の高い事業所であるため、高い技術を持った退職者の再雇用や、時間単位のパート職員を活用して、効率を高めている。
その他	
総括的な所見	
一般消費者に対する安心、安全な食肉の安定供給に寄与することを目的にHACCP（ハサップ）の導入や品質管理のシステム化など、と畜技術の向上や衛生管理の徹底を図る。また、長岡食肉センターとの統合を視野に入れ、財務の健全性を維持していく。	

【所管課による評価】

現状に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県食肉流通合理化計画においても基幹的施設として位置づけられる機能性を有し、生産者や食肉加工業者の利便性を確保するとともに、より安全・安心な食肉を安定的に消費者へ提供できるよう、衛生面の機能充実に向けた取組みについて評価できる
課題及び改善すべき事柄	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化に伴う対応や職員体制については、中期的な視点をもって、関係者と一体となって情報共有と改善に取組む体制をより強化していく必要がある
今後の指導方針	<ul style="list-style-type: none"> HACCPの導入とその継続な実施状況を情報共有していくことで、よりよい品質向上につながる仕組みを関係者と一体となって構築していけるよう連携を図っていく。

【総合評価】

概ね良好	改善の余地がある	改善が必要	抜本的な対応が必要
改善指示事項			

【総合評価を受けての団体としての決意】

--

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

改善指示事項							
今後の改善・対応	今後の具体的な取組み・対応方針等						
	工程	実施事項・計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
	成果指標	活動指標・成果目標		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
			計画				
			実績				
			計画				
		実績					

改善指示事項							
今後の改善・対応	今後の具体的な取組み・対応方針						
	工程	実施事項・計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
	成果指標	活動指標・成果目標		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
			計画				
			実績				
			計画				
		実績					